

真宗興法議員団は、宗門内外の声を大切に聞き取り、ポストコロナの時代を見据え、責任をもって宗政に取り組み、皆様と共に歩んでまいります。

真宗大谷派の存在意義

真宗大谷派が世に存在する意義は、宗祖親鸞聖人の開顕せられた本願念仏の教えを仰ぎ、「普共諸衆生、往生安楽国」の志願に生きる人々を生み出すことのほかにありません。そのために、同朋会運動の推進を宗門のいのちとする教団であります。まさに「人類に捧げる教団」として、宗憲に示される「同朋社会の顕現」に努め、混迷する現代社会にあって、人びとの苦悩に向き合い、歩んでまいります。

- 多様性を認め合い、一人ひとりの尊厳が守られる社会をめざす
- 自然環境問題や格差社会、差別などの社会問題を宗教的課題として向き合う

御誕生850年 立教開宗800年 慶讃法要

慶讃テーマ「南無阿弥陀仏人と生まれたことの意味をたずねていこう」のもと、宗祖の御誕生と立教開宗の意義を確かめる。

そして、自らが人と生まれた慶びを共有するための勝縁と受け止め、本廟での慶讃法要や各教区のお待ち受け事業などの慶讃事業に取り組んでまいります。

宗務改革の推進

急速に変化する時代社会を見据え、行財政改革を推進し、時代に相応した新しい宗門の在り方を構築してまいります。

- 宗務機構の抜本的見直しをはかる(中央宗務の再編と教区及び組の改編)
- 安定した財政基盤の確立をめざす
- 宗門内のすべての業務を検証し、効率的かつ健全な組織環境を整える
 - 男女両性で形づくる教団(男女共同参画)の推進
- 本廟の文化財的価値の再認識と周辺地域のにぎわい創出
 - 別院の再興

教学の振興と教化の推進

教学こそが大谷派宗門の要であり、その振興なくして将来展望は見出せません。現代に呼応しうる教学を確立し、さらなる同朋会運動の展開と教化の推進に邁進いたします。

- 聖教編纂室の常設化をはかる(確かな教えを伝える)
- 学事施設の充実、教師養成(学びの場を拓く)
- 経典、聖教における差別言辞を検証(教えを確かめる)
- 青少幼年教化のさらなる推進(次世代へ教えを繋ぐ)
- 海外開教・都市開教の積極的展開(新たなご縁を結ぶ)
 - 帰敬式の推進(念仏者の誕生を願う)
 - 本廟奉仕上山促進(真宗門徒の生活を習う)

一カ寺一門徒に寄り添う宗政

一カ寺一カ寺が聞法の道場として活性化するための施策につとめてまいります。

- 寺院活性化支援の推進
- 過疎過密支援の強化
- 真宗仏事の回復

宗憲の検証と研究

新宗憲制定から40年を経た今、あらためて宗憲に関する諸課題を検証してまいります。

- 宗会の在り方を見直す
決算審議の時期、議員定数、他
- 緊急(非常事態)時に対応した宗務機能の確立